

# 各常任委員会の審査

本会議から各常任委員会に付託された議案、請願・陳情等の審査の内容は、次のとおりです。

## 総務企画

### 協議・条例改正

群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議、市町村総合事務組合の規約変更に関する協議が2件審査されました。条例は、職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正、市長、副市長の給与、旅費支給条例の一部改正、職員の給与に関する条例の一部改正が審査され、花と食のむらづくり基金条例は子持地区に限定されているために廃止し、市域全体事業として普及しようとするものです。6議案とも全会一致で、可決されました。

### 質疑

質疑 月60時間以上の時間外勤務の人は。

### 答弁

答弁 10人ぐらいいいます。

### 請願陳情の審査

請願は3件審査され2件は継続審査になりましたが、「所得税法第56条の廃止を求める意見書採択についての請願」は全会一致で採択となり、意見書案を提出しました。

## 市民経済

本委員会に付託された議案は6議案で、3月1日午前中は国民健康保険診療所と渋川総合病院のリニアックなどの現地調査を行い、午後1時から議案審査をしました。

「指定管理者については、ちちばなの郷城山に指定管理者制度を導入し施設管理を行わせるもので審査の結果、前橋市川原町、株式会社「邦堂」に決定されました。指定の期間は平成22年7月1日から27年3月31日までです。「指定管理者については条例に定めて情報公開をしていくべきでは」、「指定管理にすると、すぐに赤字が

黒字に転ずるのはなぜか」など、活発な質疑がありました。採決の結果、多数決で可決されました。

### 国保診療所の設置について

国民健康保険診療所条例と診療所使用料及び手数料条例は、赤城南北診療所を廃止し新たに診療所を設置することに伴い所要の改正をするものです。

今まで無料だった文書作成手数料の徴収等で、「利用者混乱はないか」などの質疑がありましたが、全会一致で可決されました。

### 条例の改正

生活改善センターの条例改正では質疑はなく、小口資金融資促進条例の一部を改正する条例では、「建設業者の利用が平成20年度に比べ減少しているが何か問題があるのではないか」との質疑がありました。採決の結果、2議案とも全会一致で可決されました。

### 規約の変更

後期高齢者医療広域連合の規約変更は、六合村が中之条町に編入することに伴

## 建設水道

い変更となるもので、全会一致で可決されました。

群馬佛光山寺建築場所と国道17号前橋渋川バイパスの現地調査を実施。佛光山寺は造成工事が完了し、建築は延期されています。前橋バイパスは暫定開通に向け工事が行われていました。



ゴールデンウィーク明けに全面開通予定

## 教育福祉

妊婦健診等の公費負担の拡充を求める請願の審査を行い、願意妥当と認め、全会一致で採択され、本会議に意見書案を提出しました。



渋川総合病院に設置されたリニアック

# 一般質問



園庭で元気に遊ぶ子どもたち

## 為せば成るの精神で

安力川 信之 議員

市の判断はいつも正しいか

**質問** 文化や歴史を大事にするまちづくり、地域間格差は正に組み組む考えは。

**答弁** まちづくりにあたっては、本市の文化的・歴史

的資産を十分に活かすことを念頭に、地域の特性を踏

まえながら、取り組んでいきます。また、引き続き、

総合計画に基づき、財政状

況をはじめとした様々な観点からの検討を行い、地域

間に格差が生じないように、適正な業務の執行に努めま

す。

**質問** 子育て支援は信頼関係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

親の所得で学力が決定する社会は不幸。市の対応は。

**答弁** 子ども手当で、給食費などの未納を解消するため市の対応ですが、国では給食費等に支払いを呼びかける広報強化を、平成22年度においても実施していくとのこと。市としても同様に啓発していくとともに子ども手当支給月における積極的な納付勧奨及び滞納整理を実施していきたくと考えます。

**質問** 子育て支援は信頼関係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

社会で取り組む子育て支援

**質問** 子育て支援は信頼関係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

社会で取り組む子育て支援

**質問** 子育て支援は信頼関係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

係が必要。子ども手当で、給食費などの未納解消を。

## 子どもの声が聞こえるまちづくり

須田 勝 議員

出産祝い制度の確立を

**質問** 昨年12月議会で「出産祝い金支給条例を廃止する

条例」が可決されたが、出産祝いは日本の歴史であり

文化である。生命誕生最初の祝いで、子どもが多く増

えていたいただきたい観点から、品物でも商品券でも良いが、

祝いとして支給の考えは。

**答弁** 現在、出産に対する祝い制度として、希望者に記念樹を配布しています。対象者全員が満足される品

を選ぶのは難しく、祝いの気持ちちは第3子以降保育料

無料化、不妊治療費助成、保育施設整備等の中であら

わしていきたくと考えます。

少人数校の対策は

**質問** ワクチンや検診で、命を守り医療財政改革をすべき。ヒブや肺炎球菌、子宮頸がんワクチンに公費助成を。

**答弁** 国ではヒブや肺炎球菌ワクチンの安全性について現在検証段階であり、定期接種に組み込まれていません。子宮頸がんワクチンは3回の接種で5万円ほど

かかります。国では今後補助などについて検討する

等には注意して対応します。

**質問** 年々、子どもの数が減少し、小中学校のクラス

体系の維持が難しく、学習機能が危ぶまれており、以前から統廃合を聞いてきた

が、未だに案も計画も出てこない。今現在の対策は。

**答弁** 平成22年度から複式

学級となる学校もあるが、非常勤講師の活用も図り、

少人数の長所を生かして学力の向上と自主性や責任感

を育む指導を行いたい。統廃合は、多方面の意見を聞きながら検討を進めたいと

考えています。

未来を担う子どもたちへの投資は

**質問** 現在の渋川市は子どもの遊び場が非常に少ない。各地域に、子ども広場・遊び場の設置を投資として希望するが、考えは。

**答弁** 市内には123の自治会があり、それぞれ地域

によって要望が違います。自治会長と良く相談をし、地域の実情を勘案しながら、前向きに取り組んでいきたくと考えられています。



ポリオワクチン接種（保健センター）